くにみ

【才109号】
昭和41年10月15日発行
非売品
発行所　国見町公民館
発行人　佐藤善次郎
編集人　鈴木美一
印刷所　宇佐美印刷所

議会だより

（9月定例議会）

二千万円の追加など十六案件きまる

九月定例議会は九月二十二日招集、会期を三日間と決定したのち次の議案を審議、原案どおり可決された。

×　×

才一日（九月二十二日）午後一時開会

一、専決処分の承認を求めることについて（町長提出才三五号議案）

県北中学校屋体建設にともなう土地買収費と毛上補償料合計八十万円と選挙資格調査費八万円の追加である

一、福島県旧市町村職員恩給組合資産管理組合規約一部改正について（同三十六号）

一、工事請負契約の締結について（同三十七号）

県北中学校屋体の請負契約で、仙台市株式会社玉田工務店と壱千八百四十七万円で契約された。

一、寄付採納について（同五十五号）

大木戸及び山根部落のポンプ台車購入資金として金八十万円の寄付が両部落からされた

一、職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の制定について（同五十二号）

一、国見町国民健康保険条例の一部を改正する条例について（同五十八号）

明年一月一日から家族七割給付になるためその残額三割の一部負担についての条例改正である。

一、職員の給与に関する条例制定について（同四十一号）

一、職員の勤務時間に関する条例の制定について（同四十二号）

一、職員の休日及び有給休暇に関する条例の制定について（同四十三号）

一、職員等の旅費に関する条例制定について（同四十四号）

以上四件はこれまで一つの条例の中に含まれていたのをそれぞれに分け、運営しやすくしたもので内容は変らない。

一、国見町消防賞じゅつ金条例の制定について（同五十三号）

消防団員がその職務遂行により災害を受け死亡し又は不具廃疾となった場合、町として賞じゅつ金を授与するための条例である。

一、教育委員会委員任命に同意を求めること（同五十六号）

九月三十日で任期満了になった鈴木正氏の後任として大字高城八島栄一氏を任命したのでそれに同意を与えたものである。

一、大木戸財産区管理委員選任について（同五十四号）

村上運作氏の後任として斎藤英郎氏が選任された。

一、山長育英財産管理委員委嘱に同意を求めることについて（同六十号）

左の人々が委員として同意された。

武見弥八郎、岩谷唯近、大沼西治、松浦喜一郎、大浪政吉、小野鶴雄、田村操、佐藤善次郎、斎藤長一、松田次郎

一、昭和四十一年度国見町都市計画土地造成特別会計予算（同五十七号）

役場前都市計画街路事業の予算歳入歳出共五百二十一万五千円である

才二日目九月二十三日は議案調査のため休会。

才三日九月二十四日午前十時開会、次の義案等が審議された。

一、昭和四十一年度国見町上水道特別会計補正予算（同三十七号）

一、同国見町国民健康保険特別会計補正予算（同三十八号）

一、同国見町一般会計補正予算（同三十九号）

これは追加額二千百一万八千円で歳入歳出それぞれ一億六千七百二十三万七千円となった。支出のおもなものは災害復旧費の九百五十七万円、教育費の三百二十二万円、消防費の二百八十万円等である。

一、昭和四十年度の七つの特別会計および一般会計の歳入歳出決算が審議され、監査委員の審査の意見が述べられ、全会一致認定された。

以上各議案議決後各議員の一般質問に入り、公立藤田綜合病院の敷地問題、農業構造改善事業問題、町の史跡保存整備問題その他東北自動車道に関連する数多くの質疑応答が行われた。また、かねて議会に提出されていた請願陳情は左のとおりそれぞれ委員会に付託、継続審議されることになった。

○徳江地区より提出された定期バス運行実現についての請願と大木戸地区より提出された歩行者専用信号機設置についての請願は総務常任委員会

○関係地区民より提出された東北自動車道路線変更についての陳情は建設・産業両常任委員会

有線放送の完成にあたって

泉田　佐藤　俊雄

ひとくちに有線放送と申しますが、この施設は公社線とも接続するための規格もございまして、皆様方の ご希望どおりにのみ工事を進めることのできぬ点が数多くあったことと思われます。しかし、おかげ様で、設備一切、最新式のものであることは、今後ご使用される方に従いご理解いただけると思います。完成の節には、たぶん本部施設等も開放され、その精密な機械の一部は見学されることと思いますが、皆様の電話機に通じるまでには、加入者のみならず、町内はもとより他町の皆様のご協力を得てようにに、一斉放送機械に、公社線接続交換機に、ラジオ及び録音等に至るまで、スイッチ一つで自動的に操作する機械も、一本一本の線が正確に組立てられ接続されています。この精密で優秀な機械装置を日夜兼行で作ってくだされた技術者の方には全く頭がさがる思いです。みんなで感謝申上げましょう。手入れ次第で電話は永く永く喜んで働いてくれるそうです。

現在工事者も、緊張に残された施設及び仕上げ作業にとりくんでいますので、近々中に公社の検査も受けて公社線と接続され、完成の運びに至りましょう。

私達は今後、このようにしてでき上った有線放送電話を最高度に活用すべく、皆様と共に研究を重ね、昼夜休みなく流れる電流を通して町民の生活文化の向上を図りたいと念願する次才です。

最後に、重わてこの画期的な計画をお立てくだされた農協当局、並びにこれをみごとに完成してくだされた工事者、それに全面的にご協力いただきました町民各位に対し、盟友共共心から厚くお礼申上げると共に、今後もよろしくご指導ご鞭撻のほどをお願いいたします。

（国見町農協青年連盟委員長）

毎日が楽しい

斎藤トヨ子（徳江）

これまで青年団の集会などで、他町の人が有線放送の話などしているのを見て、どうしてわが町にもできないのかと、たいへんうらやましく思っていたものでした。

ところが、いよいよ国見町にも待望の放送が開始され、ほんとうにうれしく思いました。しかも自動ダイヤル式の最新式のものだそうで父や母も「なんでも後から出るものほど良いもの、便利なものになるものだ」といって朝から晩まで感心しています。ほんとに待ったかいがあったと皆で喜んでいます。

わたくしの家には、しょっちゅう電話がかかってきます。記録しておいたら毎日十数回多い日には二十数回になるだろうと話しています。今のところ弟達が主役のようですぐの弟は、電話のおかげで青年団の連絡が便利になり、大助かりだといっています。

わたくしも大いに利用させてもらっています。どんな用件でも家にいてスピーディーにたせるし、友だちや親類のおばさん、いとこたちとも話せるし、家の中が急に文化的になったような気がします。

始めて電話をかけるとき、間違いはしないか、ほんとうに通じるだろうかと、電話帳とにらめっこしながら、おそるおそるダイヤルを廻しました。するとまもなく、ききおぼえのある友だちの声がきこえてきました。わたくしはうれしさのあまり「ウワー」と大声をあげたのでみんなにわらわれました。

今ではちょっぴりなれて、毎日友だちと電話で会っています。そして「今日こそ誰かから来そうなものだ」と心待ちしている毎日です。

われらはかく学ぶ

〝相手の弱点を傷つけない〟楽しい交際の四条件

わたくしたち青年学級ではこの間、久しぶりに映画を見て社会科の学習をしました。「ホームラン・ケット」について、正しい交際をするための心構えを、いろいろな場面を通して知ることができました。近所同志、友人同志、又職場で、家庭で、わたくしたちの暮らしも正しい交際によって豊かにもなり、楽しいものになる。

正しい交際はわたくしたちの知識を高め、世間を見る目を拡げてくれるからです。他人との交際がじょうずかへたかは、わたくしたちの暮らしの中でまことに大切な心掛けになります。

交際を楽しいものにするためには、どんな心掛けが必要か、映画を見て話し合ったことを整理してみると大体次の四つになるようです。

(1)、相手の弱点を傷つけないこと

人間は誰でも弱点を持っているものです。たとえじようだんにも相手が劣等感を感じていることには触れないようにしましょう。そして相手のよい点をほめるよう心掛けましょう。

(2)、自分の長所や美点を余り誇らしげにいわないこと

人間は誰でも自分を高く評価しがちであります。あまり自慢ばかりする人に対しては不快を感じます。自分の美点長所をいわず、おのずからにじみ出るような謙きょな態度でありたいものです。

(3)、相手を見くださないこと

相手の人格や能力を軽く見て、かげでけなす態度は相手をいたく不愉快にさせるものです。特に自分の競争相手や心よく思っていない人に対して、そんな態度をとらないようにしたいものです。

(4)、相手の立場に立って考えること

幼児は自己中心で、自分本位にものを考え、行動しますが、社会人として生活していくためには、自己中心、自分本位になりがちな考えを常に押え、相手の立場に立ってものを考え行動することが、楽しいつき合いをするために大切なことです。できるだけ自分の立場を固持せず、相手に花を持たせるような態度が明るい交際のもとであります。

尚これに続いて「男女の交際と礼儀」というテキストを使って話し合いましたが、これについては別の人に報告してもらいます。

（社会部長斎藤伊勢吉記）

「家庭の日」を忘れずに

心身ともに健康なよい子どもを育てるには、まず家庭がとのっていなければなりません。ところが、現在の多くの家庭は、いろいろの影響から思うようにいかない点も少なくないようです。そこで、毎月一回才三日曜日を「家庭の日」と定め、町民ひとりひとりがこれをひとつのきっかけとして、家庭の団らんをとおして健やかな子どもを育てるのにふさわしい家庭づくりに努力していこうではありませんか。

◎交通の五悪を追放しよう……酒飲み運転・スピード違反・無免許運転・居眠り運転・信号無視運転

◎スポーツの秋・読書の秋・栄養・教養・休養の秋

〝奥様談話室〟に出て

松浦千枝子

このたび石母田婦人学級が福島テレビより「奥様談話室」に招かれて、国見町の明るい生活改善を発表することになり、恥かしさもかえりみず出場させて頂きました。皆様方のご指導とはげましを受けながら、改善された内容をよりよく知ってもらうため言葉に努力するつもりでしたが、いざ本番になりアナウンサーに聞かれると意識していながらうまく言葉が出ないのです。ああ、これではいけないと気をとり直して大きな声で話そうとしても口ごもってしまいます。アナウンサーがとりなしてくださったのでほっとしましたが、つくづく自分の教養の低さ、勇気のなさが思われ、ほんとうになさけなく思いました。

十月一日午前十一時、わたくしたち四人は役場前で、FTVからの迎えの車に乗りました。この事が、昨夜から有線放送で広報されたので責任の重大さを感じ、車中も落着かぬ気持で二十分後に放送局に着きました。始めて見る福島テレビです。控え室で昼食をいただき、水林アナウンサーから放送のルールについて伺いました。メーキャップをし、二時少し前にみんなでスタジオに入りました。中は意外にせまく、うす暗い天井にはたくさんのマイクがぶらさがっています。まん中にカメラ二台とその傍にハモンドオルガンがあり、放送される場所だけが強いライトで照らされ、ものすごい熱さとまばゆさで汗びっしょりです。

指定されたイスにこしかけ二時半からリハーサルです。三時、いよいよ「こんにちわFTVです」が始まる時間です。アナウンサー、カメラマン、タイム係り等それぞれの位置につきました。たれもがシュンとして緊張の面ざし、三十秒前、二十秒前、十秒前五秒前「ハイ、スタート」のあいずに静かな音楽がなり出し、アナウンサーの司会で着着と進行していきました。一部、二部、三部とコマーシャルも織り込んで四十五分間はたちまちすんでしまいました。あれほど期待し、緊張していたのに「あっ」というまに終ってしまったのです。

控え室で一いきついて帰りました。FTVの職員の方々のご親切とごていねいなもてなしにすっかり感激し、こうしたふんいきに臨ませていただき、この上ない社会勉強になったことを感謝しながら、また向こうの車で送られてまいりました。

鈴木主事記

「九月二十八日、駅前のマル六さんをとおしてFTVから、農家の奥さん三、四人それも二〇代、三〇代、四〇代の各層から、生活改善についての対談をするかも出してくれるよう話がありました。突然のことでありかつ農繁期でもあるのでありますが、ぜひとの頼みなので、養蚕にあまり関係のない石母田の方々を推せんしたのです。菊地節子、菊地よすえ、松浦千枝子、宍戸ミツエの四人の方が「こんにちわFTVです」の第二部、「奥様談話室」に出て、りっぱに使命を果してきました。この文は松浦さんに特にお願いして書いてもらったのです。」

子どもと家庭

こんな家庭は困りもの

子どもにとって家庭は唯一の憩いの場であるとともに、社会生活において必要とされる基本的態度がしつけられる場でもあります。

家庭は、親子、夫婦、兄弟姉妹などの家族によって構成されるものですが、お互いに愛し合い、助け合い、信頼し合って明るいものとしなければなりません。家庭に常に風波が立ち、陰気でじめじめした空気のあるところでは、子どもに十分なしつけをすることなどできようがありません。

次のような家庭は、子どもにとって困ったものですから十分に留意したいものです。

一、陰気で暗い家庭

家庭も生きものといわれています。生き生きしたリズムのない人間関係の暗いふんいきは、子どもによい影響を与えません　ともすれば、貧乏とか、病気とかは家庭を暗くしがちですが、家族の心構えによっては必ずしも問題となるものではありません。それらのことについて家族全員が協力して立ち向う姿勢がとられるならば、暗いものとはならず、むしろ積極的な明るいふんいきがかもし出されるものです。

二、緊張、かつとうの多い家庭

両親の不和、かっとうは、子どもの情緒の発達にゆがみを与えやすいものです。また子どもは、こうした家庭にうとましさを感じ、反発したり、逃避したりするようになります。

三、精神貧困な家庭

物には恵まれ、親も社会的に地位のあるような家庭の非行少年を見ると、物質本位でありながら精神が極めて貧困であることが多いようです。何不自由なく」与えられて育てられますと、やがては物に目がくらみ、窃盗でも、強盗でもしかねない弱い人間となってしまうおそれがあります。

人のうわさ話はやめましょう

…テキストを使つて学習…

九月二十九日、わたくしたちは、映画を見て話し合ったあと、こんどは「テキスト」を使っての学習をしました。「男女の交際と礼儀」という小さな本ですが、まず目次をみると「男女交際の心構え」として次の一〇か条が書いてあります。

一、お互に人格を尊重すること
二、異性を理解し、批判する力を養うこと
三、秘密にしないこと
四、友情と恋愛を混同しないこと
五、自分の意志をはっきり表わすこと
六、交際を強制しないこと
七、服装や態度に「たしなみ」を忘れないこと
八、快い感じを与えるような態度をとること
九、経済上の負担を負わせないこと
十、自分の行為に責任をもつこと

これらのことについてゆっくり、ひとつひとつ勉強したいものです。

次に「男女の交際と礼儀」について具体的な説明が書かれています。

一、ことばづかいと話題
二、服装
三、あいさつ
四、交通
五、贈り物
六、戸外でのたしなみ
七、紹介
八、訪問
九、「デイト」について
一〇、キャンプ、旅行等の場合
一一、男女の交際と共学
一二、集会
一三、ダンスとダンスパーティーの場合
一四、求婚と結婚について

そのうち「話題」と「服装」についてみんなで話し合いました。「話題」については次のような注意が必要だということです。

(1) 個人的なことに立ち入って、根ほり葉ほりたずねるべきではありません。

(2) 人のうわさ話などは、もっとも良くないことです。

(3) 自分のことばかり持ち出して話す人がありますが、これも感心できません。

(4) 不平やぐちばかり持ち出す人がありますが、聞き苦しいことです。

(5) お互いに興味をひく有益な話題を見つけ出すように努めたいものです。

(6) 話をする場合、自分だけしゃべらずに、相手も楽しく話せるように注意しましょう。

(7) 相手の話をよく聞くこと、途中で人の話を折らないこと、急に話題を変えたりしないことの注意が必要です。

（K子記）

社会を明るくする話

第4話　5.15事件と2.26事件

昭和七年五月十五日の白昼総理大臣官邸を襲った海軍将校の為に、時の内閣総理大臣犬養毅は、無残にもピストルで射殺されてしまいました。

このような事件がなぜ起ったのでしょうか。

昭和初期の日本の国内は、不景気の嵐に吹きつけられて銀行がつぶれ、預けた金が返しても、不作続きのため農村で食う物も着る物も無い農民が路頭にさまよう暗い状態でした。

一方、日本の政治は、当時の二大政党である政友会と民政党との争いに明け暮れ、政友会が政権をとれば民政党の罪悪をあばき、民政党が政権をとれば政友会の罪悪をあばくというぐあいに、汚職事件や疑獄事件の連続で、このような政党政治を批判しの声が国内至るところから起ったのです。

そして、軍部も政治の堕落に目をつけ込み、その勢力を政治面に進出するようになり、時の政局を憤る青年将校の過激な行動は、犬養総理射殺の五・一五事件となった訳です。

五・一五事件に続いて、昭和十一年陸軍将校が高橋是清や斎藤実らの重臣をはじめ政府の要人多数を殺傷する二・二六事件が起ってからは、日本の政治の実権は軍部の手に移り、支那事変、太平洋戦争と無謀な戦争に国民を引づり込んだことは、また私たちの記憶に新しいところです。

このように、日本を戦禍に導いた最大の原因とも言うべき政治の堕落、これはいったいどうして生じたのでしょうか。「選挙が腐敗していて、選挙に莫大な金がかかる。」政治堕落の原因はここにあったのです。

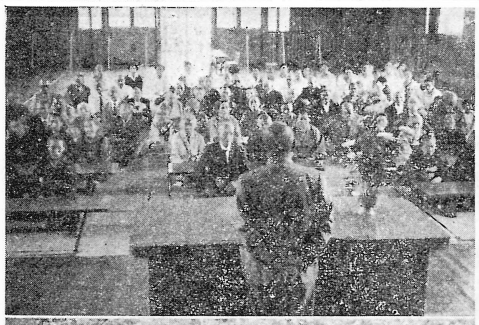
選挙のために非常に多額の金をつくらねばならず、そのために悪い事をする。これが断できる状態ではない筈です。それを思うと選挙の腐敗の恐しさがひしひしと身に感じられます。

「最近における日本の選挙は腐敗している。しかし、昔のような軍部がないから心配はない。」と人々は考えがちです。

もちろん、現在、自衛隊はありますが昔のように統帥権によって天皇に直属する軍部というものではありません。それで、政治がどんなに堕落したからといって自衛隊が進出してきて日本の政治の実権を握るということはないでしょう。

しかし、日本の国の内外の議会政治、民主政治をねらっている者、隙あらばと虎視たんたんとねらっている勢力がないでしょうか。決して油動きをよく見て下さい。日本断できる状態ではない筈です。

（前に同じ）



写真は語る

写真は上から

(一)小坂の敬老会
9月15日、ことしから旗日の仲間入りした敬老の日、小坂、藤田の両婦人会ではさっそく敬老会をした。

(二)交通事故犠牲者
9月20日、国見町交通安全協会では県北中前の慰霊碑の前で慰霊祭を行なった。

(三)大枝敬老会
大枝婦人会では養蚕がひときりついた10月1日大枝集会場で開きほとんど全員の出席があった。
尚大木戸では11月15日、森江野では10月22日。

(四)大枝家庭教育学級
大枝PTAでは10月3日家庭教育学級を開き48組のお父さんお母さん方が机を並べて仲よく勉強した。今回は石母田の佐藤利雄先生（福大教授）を招き「人間の心理と家庭教育」について学習した。これから3月まで10回30時間の予定。尚小坂ですでに9月23日から開講している。

(五)史跡を訪ねる会
10月4日、梁川町新公園で丹羽秀也先生（梁川公民館長）の説明をきく一行。次回は11月2日小坂峠を訪ねる。